

## 資料11-2 第1回みえ環境大賞 受賞者一覧

### ●環境活動部門 (5団体)

(50音順)

名称	所在地	主な活動	活動の詳細
特定非営利活動法人 ういの郷クラブ	明和町	里地里山の整備とそれを活用した地域住民への普及啓発活動等	大仏山の山麓を巡る歴史古道(斎王参向古道)の整備再生及び大仏山の周遊散策路の整備、里地里山(竹林・宮川用水路敷き等)の整備保全を行っている。 また、上記の場所において、環境保全活動を啓発・体験する市民活動(ソーシャルレジャー)の開催及び活動の指導もを行っている。 さらに、地元小学校や幼稚園が野外学習・野外保育に利用できるよう、環境整備(植栽場提供、自然遊園地整備、ビオトープ、生物多様性学習園提供、野外食育場の整備等)を行っている。
菰野町水土里の郷の会 音羽支部	菰野町	地域住民と連携した農村環境の保全、農業体験の実施、絶滅危惧種の保全等	音羽地域の美しい自然を後世に伝えるため、また地域の希少な資源を地域全体で保全するため、農業者、老人会、区民等の協力を得ながら、地元小学生の田植え体験の機会を提供しているほか、区の子ども会とともに、絶滅危惧種の「カワバタモロコ」と「ホトケドジョウ」の保全活動も行っている。 また、農業環境と自然環境の保護のため、農業用水路の清掃活動や、森林の保全整備なども実践している。
鳥羽市立菅島小学校 エコ・ボランティアクラブ	鳥羽市	給食の残飯の堆肥化及び花植えへの利用、地域の環境美化活動等	毎日給食の残飯を処理して堆肥を作り、その堆肥を使って給食の食材にする野菜や、校内や地域を彩る花等を育てている。 学校の授業で行っている「島っ子ガイド」の経験を生かし、休日にガイドボランティアとして、観光客等の案内を行っているほか、地域の方々を巻き込んで浜そうじ、花いっぱい運動も行っている。
名称	所在地	主な活動	活動の詳細
三重県立水産高等学校	志摩市	英虞湾等での海洋生物や環境の調査・研究と子どもを対象とした出前授業の実施等	水産高等学校では、授業や生物部の活動として、志摩地域の里海である英虞湾や熊野灘に面した沿岸で、海洋生物や環境の調査・研究を継続して行っている。 また、学校の特性を活用し、実習船「しろちどり」、「はまゆう」に乗船しての海洋観測も実施しており、海洋の視点から環境教育を進めている。 さらに、地元の小学生や幼稚園児を対象とした海洋生物や環境の授業、志摩市と連携した干潟の調査、環境教育の展示やフォーラムを実施している。
三重大学環境ISO学生委員会	津市	学生が主体的に行う学内での3R活動や地域住民と協力した海岸清掃等	学生の視点から学生及び地域住民の環境マインドの向上を促すことを目的とし、学内の3R活動であるレジ袋削減活動などのリデュース活動、自転車・家電のリユース活動、古紙回収や資源ゴミの回収を主とするリサイクル活動、緑化活動である花壇・屋上緑化の管理を行っている。 また、地域貢献活動として、大学に隣接する町屋海岸で地元住民と連携した清掃活動や、地域の小学生に対する環境学習、地域の環境イベントへの参加など幅広い環境活動も行っている。

### ●環境経営部門 (3団体)

(50音順)

名称	所在地	主な活動	活動内容
三惠工業株式会社	鈴鹿市	廃棄物の削減・再利用及び工場・オフィスにおける省エネ・節電活動等	「自然環境との調和」を最重要課題とし、一般的な3R(Reduce、Reuse、Recycle)に、RefineとRebuyを加えた行動指針Re5(リファイブ)を掲げ、廃棄物の削減・再利用を進めている。 使用済みチエアを資源として有効利用するために、「資源循環型チエア」の実現をめざし、再生容易な材料や簡単に分別廃棄できる設計など、数々のリサイクル対応システムの構築に取り組んでおり、現在製品構成比率で69.5%がこのコンセプトの下でつくられている。 また、オフィス及び工場内の省エネ・節電に積極的に取り組んでいる。
株式会社デンソー大安製作所	いなべ市	生産工程における環境負荷の低減、地域・行政との連携による環境教育・環境保全活動等	大安製作所では環境先進工場を目指し、「大安エコファクトリー活動」に取り組んでいる。この活動では全社方針に基づく省エネ・省資源等の活動に加え、「地域・行政との連携」をキーワードに大安独自の取組テーマを検討し、2015年までの長期計画を策定して取り組んでいる。 2012年度は、地元いなべ市と連携した「小水力発電アイデアコンテスト」の開催や、地元小学校と連携した「キッズISO14000プログラム」の導入など、新たに8テーマの取組を進めている。
株式会社百五銀行	津市	環境配慮型金融商品の展開及び店舗・オフィスにおける省エネ・節電活動等	平成11年に全国の地方銀行で2番目にISO14001の認証を取得し「環境にやさしい銀行の実現」を目指し、環境保全活動に取り組んでいる。 特に近年は、「使用電力削減運動」を実施し、削減優良店を表彰するなど、職員の環境啓発に努めている。 金融業として地球温暖化防止を促進するため、環境格付を利用した融資「エコ・フロンティア」を開発した。本年9月からは、東海地区地銀では初となる「太陽光発電事業融資」の取扱いを開始した。また、環境フェアへの出展や地域清掃活動への参加など地域社会との協働にも積極的に取り組んでいる。